

これからの学校教育と教員養成カリキュラム

社会・学校改革の 過渡期における 教員養成を考える

《主催》

東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター

《後援》

日本教育大学協会、東京都教育委員会、国分寺市教育委員会、小平市教育委員会、小金井市教育委員会

日時

2013(平成25)年 **12月7日** [土] 13:30—16:30

会場

東京学芸大学
芸術・スポーツ科学系研究棟2号館2階
第一会議室

内容

(シンポジスト)

門脇 厚司 氏 教師は何のために能力と情熱を費やすべきか
北神 正行 氏 学校教育課題の変容と教師の専門性
遠藤 孝夫 氏 「学識形成と相即した人間形成」としての教員養成の可能性

(特別講演) 李 広 氏 中国・東北師範大学での実践力向上プラン

***参加費は無料です。事前の参加申し込みは必要ありません。**

【お問い合わせ先】

東京学芸大学

教員養成カリキュラム開発研究センター 三石初雄

[Tel] 042-329-7777 または 042-329-7776

[Mail] hatsuo@u-gakugei.ac.jp



Gakugei

これからの学校教育と教員養成カリキュラム 社会・学校改革の過渡期における教員養成を考える

20世紀末から、学校教育に関する様々な改革が展開されてきました。周期的な学習指導要領改訂や教育方法の改革に加えて、学校には教育支援者が様々な形で学校教育に関わるとともに、学校選択制や小中連携・一貫制等の導入等の制度的改革も一部で進められてもいますが、それらの施行とその検証の必要性も議論されつつあります。

また、そのような中で教師・学校に対しての新しい対応が要請され、教員養成の「修士化」構想や教育委員会との連携を密にした現職研修のあり方が議論されてきています。このような戦後の学士課程での教員養成システムと大学・大学院の教育・研究・研修の機能・内容と方法の問い直しにおいて、一つ鍵となっているのは、現場からの要請でもある“実践的力量をどう踏まえるか”とすることにあります。

今回のシンポジウムでは、この教師・学校に求められている教育実践の力量の特質について、教育行政の見地、学級・学校経営の見地、教育における理論と実践の往還のあり方の再検討という見地からの報告をもとに議論できればと企画しました。

多くの方々のご参加をお待ちしております

●シンポジストと講演題目

教師は何のために能力と情熱を費やすべきか

— 町村レベルの学校現場と教育行政から教師教育を考える —
門脇厚司 氏 [茨城県美浦村教育委員会教育長・筑波大学名誉教授]

学校教育課題の変容と教師の専門性

— 学校組織改革の側面から —
北神正行 氏 [国士舘大学教授]

「学識形成と相即した人間形成」としての教員養成の可能性

— シュタイナー教員養成の理念と実践を参考に —
遠藤孝夫 氏 [岩手大学教授]

●特別講演

中国・東北師範大学での実践力向上プラン

— 教員養成における大学・教育行政・学校の大連携システムの試み —
李 広 氏 [東北師範大学・教授、東京学芸大学客員教授]

《主催》東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター

《後援》日本教育大学協会、東京都教育委員会、国分寺市教育委員会、小平市教育委員会、小金井市教育委員会



Gakugei

日時 2013 (平成 25) 年 **12月7日** [土] 13:30—16:30

会場 東京学芸大学
芸術・スポーツ科学系研究棟2号館2階
第一会議室

*参加費は無料です。事前の参加申し込みは必要ありません。

【お問い合わせ先】

東京学芸大学
教員養成カリキュラム開発研究センター 三石初雄

[Tel] 042-329-7777 または 042-329-7776

[Mail] hatsuo@u-gakugei.ac.jp



● JR 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車、徒歩約3分（徒歩の場合は約20分）

● JR 国分寺駅より

徒歩約20分（JR 国分寺駅北口→早稲田実業学校→連雀通り/小金井市保健センター前）